

GUIDE OF Concerning Stock 株主優待のご案内

株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数	乗車券を選択された株主様	枚数		
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	1,000株 につき3枚	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	90枚		
20,000株以上 34,000株未満		60枚				
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚			120枚	
48,000株以上 100,000株未満		1枚				
100,000株以上 300,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	2枚 変更可			240枚	
300,000株以上 500,000株未満					3枚	360枚
500,000株以上 1,000,000株未満					5枚	600枚
1,000,000株以上					10枚	1,200枚

株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内

株主優待乗車証発行対象(34,000株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行いたします。

乗車券への変更方法

株主優待種別変更申込書を、変更を希望する優待の基準日(3月31日、9月30日)1カ月前までに当社に到着するようにご送付ください。
株主優待種別変更申込書の入手は、当社ホームページよりダウンロードされるか、または当社株式担当へお電話ください。

株主優待種別変更申込書に必要事項を記入のうえ郵送

乗車券(きっぷ)への変更を登録

(申込書到着日と優待変更時期)

2月末日までに到着→6月下旬送付分より変更

8月末日までに到着→11月下旬送付分より変更

継続して乗車券をご送付

(乗車券に変更された後、乗車証に戻される場合も同様の手続きです。)

京阪グループ諸施設株主ご優待

1,000株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

①京阪グループ株主ご優待カード(何度でも利用可)

- 京阪グループホテル 宿泊20～40%割引
- ホテル内レストラン 飲食10～20%割引
ステーキハウス近江 飲食20%割引
- 大阪水上バス 20%割引
琵琶湖汽船 20～30%割引
- 浜大津アーカス ボウリング・カラオケ割引
- 比叡山坂本ケーブル 20%割引
- 比叡山ドライブウェイ・奥比叡ドライブウェイ 通行料金割引
- 京阪園芸 10%割引
ガーデンミュージアム比叡 20%割引
- 琵琶湖ホテル「るりの湯」 入浴料金割引

②京阪グループ諸施設ご優待割引券(クーポン)

- ひらかたパークのりものフリーバス割引券2枚
- パンナテ(天満橋駅) 飲食10%割引券5枚
- 京阪百貨店 お買物10%割引券20枚
- くずはゴルフ場 割引券2枚

ひらかたパークご招待



ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

送付時期(年2回)および有効期間

対象	送付時期	乗車証の有効期間	乗車券・ひらかたパークご招待券諸施設株主ご優待の有効期間
3月31日現在の株主様	6月下旬	7月11日～1月10日	ご到着日～1月10日
9月30日現在の株主様	11月下旬	1月11日～7月10日	ご到着日～7月10日

※当社株主優待制度の詳細については、当社ホームページをご覧ください。

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591

大阪市中央区大手前1丁目7番31号

株式担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585

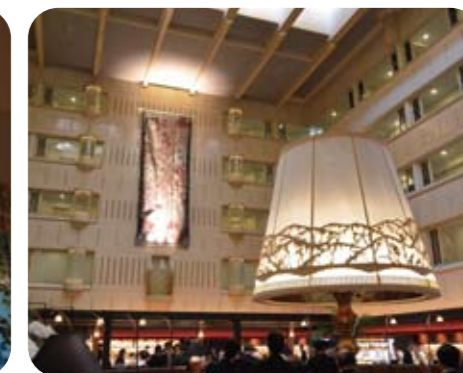
ホームページアドレス: <http://www.keihan.co.jp/>

京阪

第91期 中間期

株主通信

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



第91期中間期株主通信をお届けするにあたり、株主のみならず、皆さまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

平成24年度中間期の業績について

当中間期(第2四半期累計期間)の京阪グループは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、連結四半期純利益は65億6千6百万円、当社単体の四半期純利益は47億5千6百万円となりました。また、当期の中間配当は1株につき2.5円といたしました。今期におきましても、当社の基本配当政策である年5円配当を実施できる見込みであり、来期以降も継続して年5円以上の配当を実施することを目標としてまいります。

「安全・安心」に向けた備えと「チャレンジ」

100年を超える京阪グループの礎になっているのは、「安全」の確保とそれがもたらす「安心」の提供です。「安全・安心」への真摯な姿勢と努力の継続は、長年のお客さまをはじめとするステークホルダーのみならずからいただいていた信頼そのものであり、京阪ブランドの中核として、我々が守り続けていかなければならない大切なものです。

「安全」への取組みとして、自然災害やテロなどに対し適切に対応できる能力の向上を目的とした訓練を毎年実施しており、昨年の東日本大震災などの教訓も受け止めて、非常災害時対応の見直しを早急に進めております。

また、「安全・安心」を守り続けるとともに、時代に即応し、変化を恐れず「チャレンジ」する勇気も必要です。地域社会の発

代表取締役社長
 CEO兼COO
 執行役員社長

加藤 好文



展に貢献するためにも、京阪エリアの肥沃化と魅力向上につながる新規事業を精力的に推進します。介護サービス施設の新規整備を推進することによる高齢者生活支援事業など、沿線にお住まいの方々のライフステージに合わせたビジネスを今後も展開していきます。

京阪グループでは、「京阪グループ中期経営計画(2012～2014年度)」に取組んでいます。次の100年のために「強靱な京阪」の礎を築いていくとともに、経営の基軸である「安全・安心」の確保に向けたより一層の取組みを推進し、コンプライアンスの遵守、環境保全、地域との共生といった社会的責任を果たすことで、企業価値とブランドを向上させ、株主価値の最大化に努めてまいります。

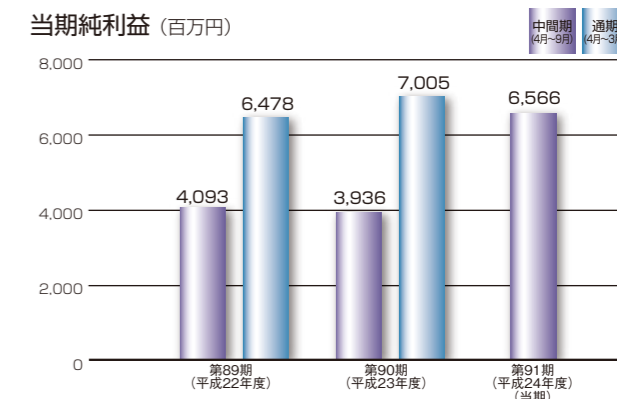
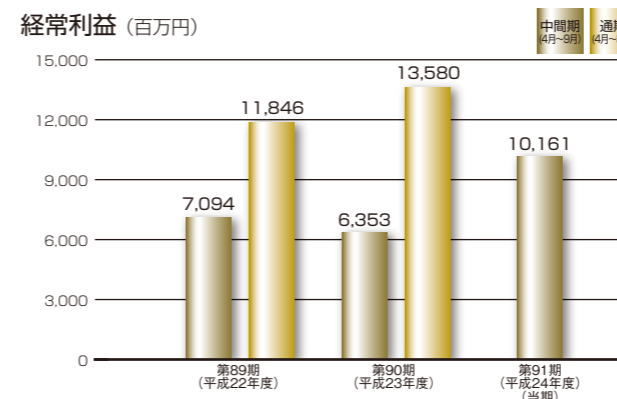
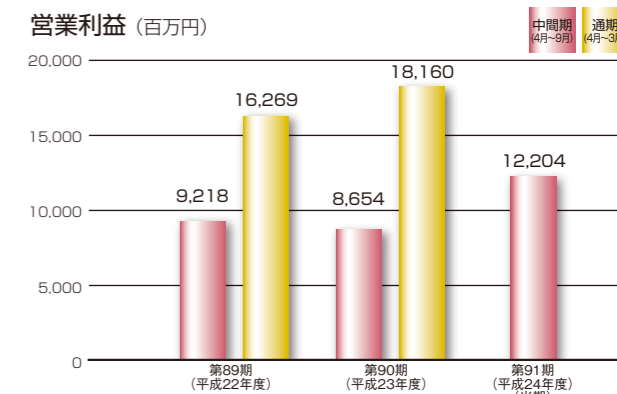
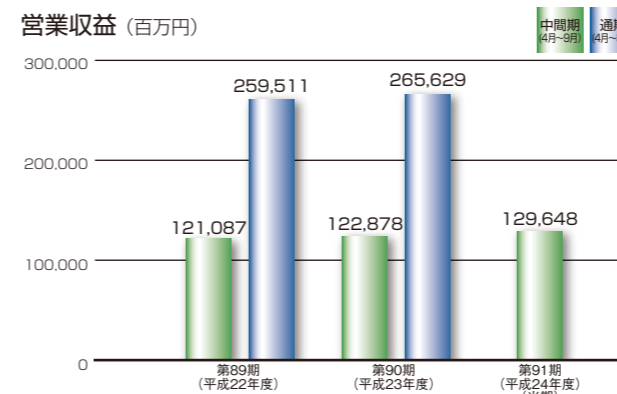
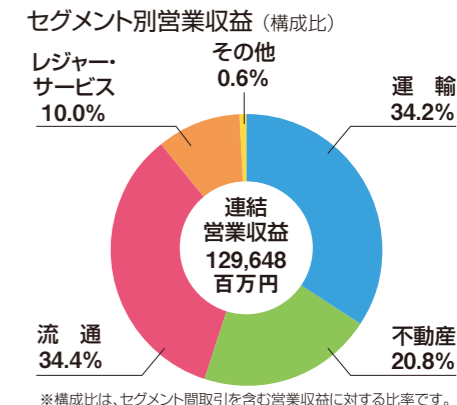
株主のみならずには、今後も一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年11月

平成24年度中間期の連結業績について

当中間期(第2四半期累計期間)のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や政府の経済対策などを背景に緩やかな回復傾向がみられましたが、長期化する欧州債務問題や海外経済減速の影響などもあって本格的な回復には至らず、先行き不透明感が強くなっております。

このような経済情勢のもとにおきまして、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当中間期の営業収益は1,296億4千8百万円(前年同期比:5.5%増)、営業利益は122億4百万円(前年同期比:41.0%増)、経常利益は101億6千1百万円(前年同期比:59.9%増)、四半期純利益は65億6千6百万円(前年同期比:66.8%増)となりました。



Segment Information

セグメント別の概況

運輸業



営業収益： 46,328百万円 (前年同期比: 0.3%増)
 営業利益： 4,386百万円 (前年同期比: 25.7%増)

鉄道事業におきましては、平成24年4月より新型車両13000系の営業運転を開始いたしましたほか、宇治・伏見観光キャンペーン「宇治・伏見、水と歴史の、まちめぐり。」を展開するなど、一層のサービス向上と旅客誘致に努めました。また、京阪線全駅に公衆無線LANサービスを拡大するなど、駅施設の利便性向上を図りました。

バス事業におきましては、平成24年4月より「ダイレクト エクスプレス 直Q 京都」号について、京都・交野・なんばを結ぶ新路線を開業いたしましたほか、関西国際空港リムジンバス京都線が好調に推移いたしました。

流通業



営業収益： 46,589百万円 (前年同期比: 1.5%減)
 営業利益： 956百万円 (前年同期比: 34.6%増)

ショッピングモールの経営におきましては、KUZUHA MALLの第2期開発計画の進捗に伴い、同施設の増床リニューアル工事に着手いたしました。

百貨店業におきましては、「京阪百貨店くずはモール店」において子供服売場のリニューアルをおこなうなど、競争力の強化を図りました。また、ストア業におきましては、オール日本スーパーマーケット協会へ加入することにより、同協会が提供するプライベートブランド商品「生活良好(くらしりょうこう)」の取扱いを開始し、スーパーマーケット「フレスト」などの魅力向上を図りました。

不動産業



営業収益： 28,175百万円 (前年同期比: 28.7%増)
 営業利益： 5,880百万円 (前年同期比: 45.3%増)

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「ローズヴィレッジくずはII」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ファインフラッツ樟葉ザ・レジデンス」「グランファースト千里桃山台」「ラ・ブリース京阪牧野」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、前年度に取得した「永新ビル」「みかみビル」「虎ノ門5森ビル」や株式取得により連結子会社とした「イースタンビル」を所有するイースタン興業(株)が通期で寄与いたしましたほか、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

レジャー・サービス業



営業収益： 13,577百万円 (前年同期比: 8.5%増)
 営業利益： 927百万円 (前年同期比: 114.3%増)

ホテル事業におきましては、(株)ホテル京阪においてセールス部門を強化し、需要を機敏に取込むことができたほか、平成24年4月より食材・備品什器・消耗品などの購入業務を集約する「京阪グループホテル集中購買センター」を稼働させ、全13ホテルに順次導入して原価低減を図り、顧客満足向上に向けてより良い商品を調達提供いたしました。

また、前年度に株式取得により連結子会社とした(株)京都センチュリーホテルが通期で寄与いたしましたほか、同ホテルにおいて、メインロビーおよびレストラン3店舗を一新することにより施設の魅力向上を図りました。

Financial Statements

財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	133,248	流動負債	188,317
現金及び預金	19,244	支払手形及び買掛金	9,953
受取手形及び売掛金	19,330	短期借入金	106,118
販売土地及び建物	80,907	前受金	22,152
繰延税金資産	2,686	その他	50,092
その他	11,079	固定負債	298,390
固定資産	503,665	社債	71,135
有形固定資産	450,270	長期借入金	138,848
建物及び構築物	183,644	長期未払金	4,208
機械装置及び運搬具	12,670	退職給付引当金	14,664
土地	222,824	その他	69,534
建設仮勘定	22,759	負債合計	486,708
その他	8,370	(純資産の部)	
無形固定資産	8,136	株主資本	113,050
投資その他の資産	45,258	資本金	51,466
繰延税金資産	5,203	資本剰余金	28,818
その他	9,775	利益剰余金	34,126
		自己株式	△1,361
		その他の包括利益累計額	34,367
		その他有価証券評価差額金	3,498
		土地再評価差額金	30,869
		少数株主持分	2,787
		純資産合計	150,205
資産合計	636,913	負債純資産合計	636,913

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,849
現金及び現金同等物の増減額	△136
現金及び現金同等物の期首残高	19,127
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,195

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

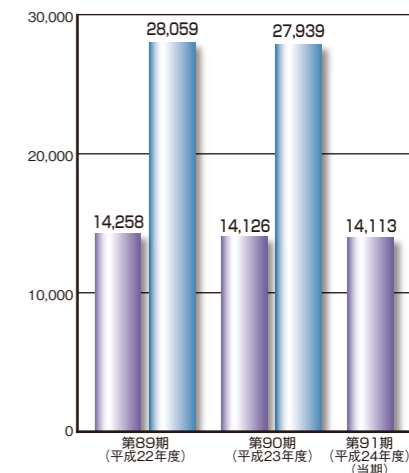
(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)
 (単位:百万円)

科目	金額
営業収益	129,648
営業費用	117,443
営業利益	12,204
営業外収益	697
営業外費用	2,740
経常利益	10,161
特別利益	475
特別損失	104
税金等調整前四半期純利益	10,532
法人税、住民税及び事業税	3,862
法人税等調整額	△124
少数株主損益調整前四半期純利益	6,794
少数株主純利益	228
四半期純利益	6,566

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社 総旅客数

(単位:万人)



大津線・ひらかたパーク100周年記念特集

「地域に愛され信頼される鉄道」を目指して

大津線の開業

大津線は、8月15日(水)に京津線が開業100周年を迎え、来年3月1日(金)には石山坂本線が同じく開業100周年を迎えます。

京津線は、京津電気軌道(株)が大正元年(1912年)8月15日に三条大橋～札の辻間で開業して以来、京都・三条と大津の中心部を直接結ぶ交通ルートとして重要な役割を担ってきました。

また、石山坂本線は、大津電車軌道(株)が大正2年(1913年)3月1日に大津(現・浜大津)～膳所(現・膳所本町)間で開業して以来、「湖都大津」のみなさまの足として、親しまれています。



交通ネットワークの拡大と利便性向上の取り組み

開業後は当社との合併や延伸を経て路線を充実するとともに、京都市営地下鉄東西線の開業に合わせ、平成9年に京津線の京津三条～御陵間を廃止しました。一方、東西線の御陵～京都市役所前間の乗り入れを開始したほか、現在は東西線の延伸に合わせ、太秦天神川駅まで乗り入れ区間を延長するなど、交通ネットワークの拡大に取り組んできました。

このほかにも、運転頻度の確保(石山坂本線での7.5分間隔による運転)やICカードPiTaPaの導入など、大津線の利便性向上に努め、大津と京都を結ぶ路線として、また、大津に住まうお客さまの足として、重要な役割を果たしています。



パーク&ライドの取組み(公共交通利用の促進)

交通ネットワークの拡大に合わせ、環境負荷の低減や行楽シーズンの交通渋滞緩和への貢献と、公共交通機関のご利用促進を目的に、マイカーを駐車場にとめて電車で目的地へ向かう「パーク&ライド」を行政機関と共同で推進しています。

大津線の「パーク&ライド」は、浜大津駅で指定の乗車券をご購入いただくと、駅前の公共駐車場の1日駐車サービスをワンコイン(500円)でご利用いただける便利なサービスです。お買い物など日常の足としてだけでなく、「湖都古都・おおつ1dayきっぷ」や「京都地下鉄・京阪大津線1dayチケット」などと組み合わせると、観光にも大変便利なサービスとなっています。



100周年を記念した取組みを実施中

現在の大津線は、地域の団体や学校の方々や連携したラッピング電車や、「昭和レトロビールde電車」「おでんde電車」などのユニークな企画電車も運行しています。

さらに今年度は、「湖都古都・おおつ1dayきっぷ」の券面に往年の名車「びわこ号」を再現したほか、懐かしの塗装を再現した「京阪本線特急色600形車両」を運行するなど、100周年を記念した様々な取組みを実施しています。

これからも、安全・安心を信頼のベースに、地域の方々とともに、「地域に愛され信頼される鉄道」を目指し、次の100年に向けて走り続けます。



みなさまの思い出づくりの舞台「ひらパー」として

ひらかたパークの起源

ひらかたパークの前身というべき施設は、明治43年(1910年)に開業した香里遊園地で、施設の魅力強化のイベントとして菊人形を開催しました。翌年の開催後に香里遊園地は住宅用地として売却されることになりましたが、菊人形が好評を博していたため、大正元年(1912年)10月6日、枚方駅(現・枚方公園駅)付近に会場を移し、第3回の菊人形を開催しました。これが「ひらかたパーク」の起源です。

以後100年間、一度も途絶えることなく営業を続け、今では日本で最も歴史のある遊園地となりました。



枚方の代名詞「菊人形」

「ひらかた大菊人形」は、主催者や開催場所の変更、戦争による中断や戦後の復活を経て、昭和39年以降は主にNHKの大河ドラマをテーマに開催されるようになりました。

これが人気となり、昭和49年には期間中の来場者数が84万人を超え、最盛期を迎えます。「菊人形といえば京阪電車のひらかた大菊人形」とのイメージが出来上がるほどのイベントに育ち、平成17年に菊師の高齢化などにより、第96回開催をもって閉幕するまで歴史を刻み続けました。

今秋は、ひらかたパーク開園100周年を記念して、「ひらかたの秋 菊人形祭 一時代を変えた男 平清盛と源頼朝」を開催しました。



幅広い世代が楽しめる遊園地へ

開園以来、遊戯施設の導入のほか、時代の変化に合った施設の充実を図り、菊人形だけでなく、春・秋楽しめるバラ園(現・ローズガーデン)、夏のプール、冬のスケートの開催などにより、年中お楽しみいただける遊園地へ成長しました。

平成8年の大規模リニューアルでは、「マジカルラグーン」が誕生したほか、「ピピン」や「ポピー」などの新キャラクターも登場しました。このとき、CMで使用した呼び名「ひらパー」が大反響を呼び、以後ひらかたパークの愛称となっています。

コースターなどの点検を寝屋川車両工場を実施するなど、ご来園のお客さまに安全・安心にお楽しみいただく取組みを続けています。



次の100年に向けて

ひらかたパークのホームページに「ひらかたパーク100周年記念サイト」を開設しています。同パークの歴史や歴代のCMなどをぜひご覧ください

これからもみなさまの暮らしのあらゆるシーンにおける「思い出づくりの舞台」として、楽しくご利用いただける「人と人のコミュニケーション空間」をご提供してまいります。

◆冬シーズンのご案内

12月8日(土)から始まる冬シーズンの営業では、屋外スケートリンク「アイス・スクエア」や雪遊び広場「スノーランド」をはじめ、イルミネーションによる演出など、たくさんのイベントを開催します。みなさまのご来園をお待ちしております。



8000系特急車両のリニューアルが完了&旧3000系特急車が引退へ

時代の要請に沿ったスタイルへの改良を目的として、平成21年から進めてきた8000系特急車両(10編成・計80両)のリニューアルが完了し、11月18日(日)に全編成で営業運転を開始しました。ハイバックタイプのロングシート、液晶ディスプレイ案内表示器、吊革などを導入し、座席シートの表地や床敷物などの内装も新調しています。



一方、約40年間にわたり活躍してきた旧3000系特急車(1編成・8両、現在は8000系30番台に改番)は来春の引退が決定。9月下旬から、往年の車両前面デザインをイメージした「旧3000系特急車(クラシックタイプ)」として運転するなど、引退を記念した企画を順次実施しています。特設Webサイトでは同車の運行予定やイベント情報などをご覧ください。



沿線外で「SWEETS BOX」「ジュースサーバー」を積極展開

(株)京阪ザ・ストアの駅ナカスイーツ専門店「SWEETS BOX」が関東に初進出し、10月23日(火)にJR市川駅直結の商業施設「Shapo 市川」(千葉)で、11月1日(木)にJR新秋津駅前の商業施設「Beans Annex 新秋津」(東京)でオープンしました。

また、(株)ジュースサーバー・コーポレーションがフランチャイズ展開するフレッシュジューススタンド「ジュースサーバー」も、8月8日(水)に新幹線新大阪駅構内で、9月8日(土)にJR青森駅前の商業施設「Festival City AUGA」でオープン。「Shapo 市川」では「SWEETS BOX」と同時にオープンしました。

今回の出店で「SWEETS BOX」は全国で10店舗、「ジュースサーバー」は27店舗となり、今後も沿線内外で積極的な出店を目指していきます。



「SWEETS BOX」と「ジュースサーバー」
(ともに「Shapo 市川」内)

KiKi 京橋に日本最大級の大衆演劇劇場「羅い舞座 京橋劇場」がオープン

当社と(株)京阪流通システムズは、11月3日(土・祝)、京橋駅前の複合商業施設「KiKi 京橋」5階に、日本最大級の座席数(460席)を誇る大衆演劇劇場「羅い舞座 京橋劇場」をオープンしました。

「KiKi 京橋」は、1~4階に多彩な「食」「ショッピング」などの店舗がそろい、「情報と文化の発信」をテーマとした地上5階建ての複合商業施設。その5階にオープンした「羅い舞座 京橋劇場」では、全国の旅劇団が1か月交代で公演。毎日演目が異なる人情芝居や華やかな舞踊ショーが楽しめます。

京阪線最大の乗降客数を誇り、関西屈指のターミナルである反面、古き良き人情味が今も残る「京橋」という街と親和性の高い大衆演劇劇場を「KiKi 京橋」に誘致することにより、沿線内外から幅広いお客さまにお越しいただき、京橋エリアのさらなる活性化を目指しています。



柿落し公演の様子

「ファインクォーターシティ」の分譲を開始

当社と京阪電鉄不動産(株)は、大阪市北区大淀北に建設中のマンション「ファインクォーターシティ」(地上20階建て、総戸数377戸、平成26年3月上旬竣工予定)のモデルルームをオープンし、10月27日(土)から分譲を開始しています。

同マンションは、昨年開業した大阪ステーションシティや来春開業予定のグランフロント大阪(うめきた)まで徒歩圏という都心にありながら、淀川に沿って広がる豊かな自然の開放感も満喫できる好立地。免震構造の採用や平面・自走式駐車場の設置など、住まいの安心感や快適性も追求しています。



京阪グループ各ホテルをリニューアル

京阪グループ各ホテルでは、多様なニーズへの対応とさらなる魅力向上を目的にリニューアルを実施しています。

5つのグループホテルを擁する京都駅前エリアでは、京都センチュリーホテルが8月11日(土)にメインロビーと「オールデイダイニング La Jyho」などレストラン3店舗をリニューアルオープン。今後は客室改装などを予定しています。京都タワーホテルでは12月6日(木)、3階にレストラン「タワーテラス」が新たにオープンする予定です(*)。

ホテル京阪京橋では、9月23日(日)から開業以来初となる全館リニューアルに着手。工事を数次に分けて、営業を継続しつつ平成26年3月の完了を目指します。また、ホテル京阪天満橋では7月に一部フロアの客室改装を実施しました。琵琶湖ホテルでは、レストランを改装したほか、Wi-Fiに対応しました。

※京都タワーでは、展望エレベーターの改修工事のため、12月3日(月)から来年4月初旬まで、展望室の営業を休止します。



京都センチュリーホテル メインロビー

樟葉駅前の駅ビルと駅ナカ店舗の一体リニューアルに着手します

京阪グループでは、「選ばれる京阪沿線」であり続けるため、住み良い沿線づくりを推進しており、なかでも最重点開発地区である「くずは地区」の顔となる樟葉駅前で、新たな駅ビル「京阪くずは駅ビル南館」が竣工、10月26日(金)より一部店舗の営業を開始しました。今後、主に駅をご利用のお客さまの利便性向上を目的に、既存の「京阪くずは駅ビル」・駅ナカとの一体リニューアルを進め、個人向け・クイックリーサービス型テナントを集積するほか、教育、文化機能などの誘致にも取組めます。リニューアル完了は、「KUZUHA MALL」増床リニューアル工事竣工と同じく、平成26年春の予定です。



京阪くずは駅ビル南館

「5代目おけいはん」が畦田ひとみさんに決定

当社では、11月から「京阪のる人、おけいはん」キャンペーンを刷新し、5代目おけいはん「中之島けい子」として「畦田ひとみ」さんを起用し、新シリーズを展開しています。

5代目おけいはんの選考にあたっては、コンセプトを「京阪沿線を楽しむ『ほんまのおけいはん』を目指して色々なことにチャレンジする女性」とし、親しみや愛着に加え、「お客さまの代表」と感じていただけるよう、初の公募形式を採用。1,801件の応募の中から、面接やお客さまからの投票などを経て決定しました。

新シリーズのテーマは「チャレンジ!」。名所・旧跡や四季折々の伝統行事など、彼女が地域の魅力を体験するチャレンジを通して、沿線の魅力を紹介します。新サイト「チャレンジ!おけいはん」を立ち上げるほか、お客さまがおけいはんと一緒に参加できるチャレンジイベントも開催予定です。



駅スタッフと乗務員の制服を刷新します

12月1日(土)から、京阪線、大津線の駅スタッフ・乗務員の制服を刷新します。

新しい制服は、現在、京阪線の駅スタッフが着用している紺色の制服をベースに、独自性、機能性、および美しさの観点からデザインしました。

当社は「安全・安心」を基本に、お客さまと「身近」に接し、「誠実」にお応えしてきた歴史のなかで、京阪ブランドの向上を目指しており、今般、制服を刷新し、今後もさらなるサービスの向上を図ってまいります。



KEIHAN (Corporate Information)

京阪 会社情報

会社の概要 (平成24年9月30日現在)

- 設立 昭和24年11月25日(12月1日営業開始)
(創立:明治39年11月19日)
- 資本金 51,466,416,776円
- 発行可能株式総数 1,595,886,000株
- 発行済株式の総数 565,913,515株
- 株主数 55,629名
- 従業員数 1,591名
- 本社事務所 大阪市中央区大手前1丁目7番31号
- 主要な事業内容
 - ①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸)
 - ②不動産事業(土地建物の販売および賃貸)
 - ③レジャー事業(遊園地などの経営)
- 営業キロ 91.1km
- 車両数 718両

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役社長 CEO兼COO 執行役員社長	加藤 好文	常務執行役員	下條 弘
代表取締役 専務執行役員	小川 雅人	執行役員	永井 博
取締役 専務執行役員	脇 博一	執行役員	塩田 正
取締役 常務執行役員	末近 義治	執行役員	木村 靖夫
取締役 相談役 取締役会議長	佐藤 茂雄	執行役員	三浦 達也
取締役	佃 和夫	執行役員	太刀川 克己
取締役	北 修爾	執行役員	浅井 栄一
監査役(常勤)	井関 隆政	執行役員	中西 基之
監査役(常勤)	前田 佳彦		
監査役	家近 正直		
監査役	上野 至大		
監査役	島井 章吉		

京阪グループネットワーク (平成24年11月現在)

- 運輸業
 - 京阪電気鉄道(株)
 - 叡山電鉄(株)
 - 京福電気鉄道(株)
 - (株)京阪エンジニアリングサービス
 - (株)京阪レジャーサービス
 - 中之島高速鉄道(株)
 - (株)京阪ステーションマネジメント
 - (株)京阪エージェンシー
 - 京阪ライフサポート(株)
 - 京阪バス(株)
 - 京阪シティバス(株)
 - 京阪京都交通(株)
 - ケービー・エンタープライズ(株)
 - 京阪宇治バス(株)
 - 江若交通(株)
 - (株)ザ・コジャック
 - 京都バス(株)
 - ケーター自動車工業(株)
- レジャー・サービス業
 - (株)琵琶湖ホテル
 - 琵琶湖ホテルサービス(株)
 - (株)ホテル京阪
 - (株)京阪アーバンシステムズ
 - (株)京阪リゾートシステムズ
 - 京都タワー(株)
 - (株)京都センチュリーホテル
 - 琵琶湖汽船(株)
 - 琵琶湖汽船サービス(株)
 - びわこフードサービス(株)
 - 大阪水上バス(株)
 - 比叡山鉄道(株)
 - (株)樟葉パブリック・ゴルフ・コース
 - 比叡山自動車道(株)
 - (株)ガーデンミュージアム比叡

■ その他

- (株)大阪マーチャндаイズ・マート
- (株)京阪ビジネスマネジメント
- (株)京阪カード
- (株)はちけんや

■ 不動産業

- 京阪カインド(株)
- 京阪電鉄不動産(株)
- イースタン興業(株)
- 京阪産業(株)
- (株)かんこう
- (株)文化財サービス
- 京阪園芸(株)

■ 流通業

- (株)京阪流通システムズ
- (株)京阪百貨店
- (株)京阪友の会
- (株)京阪ザ・ストア
- (株)京阪レストラン
- (株)ジューサーバー・コーポレーション

表紙題字は加藤好文

GUIDE OF (Concerning Stock)

株式についてのご案内

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

ご所有株式のうち、単元未満株式(1,000株未満の株式)につきましては、次のいずれかを利用して整理していただくことができます。

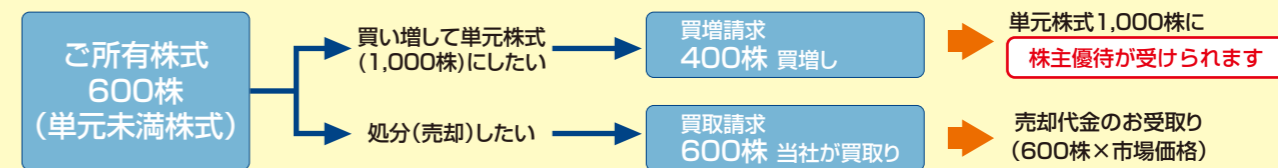
単元未満株式の買増制度

当社に対して、単元株式(1,000株)に不足する株式数の市場価格による売り渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、1,000株にすることができます。

単元未満株式の買取制度

当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

〈買増・買取制度の例〉



■買増請求・買取請求に関する手続きのお申し出先

証券会社の口座で管理されている株主様	▶ お取引証券会社 (別途手数料が必要となる場合があります)
特別口座が開設された株主様	▶ 三井住友信託銀行 証券代行部 (フリーダイヤル)0120-782-031

株主メモ

■ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会 6月

■ 基準日 3月31日

定時株主総会

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日(行う場合)

■ 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

■ 郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)

0120-782-031

(銀行営業日の9:00~17:00)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 電子公告掲載ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>

■各種手続きのお申し出先

未払配当金の支払い請求	▶ 三井住友信託銀行(株主名簿管理人)
住所変更、相続、単元未満株式の買増請求・買増請求、配当金受取方法の指定等	証券会社の口座で管理されている株主様 ▶ お取引証券会社
	特別口座が開設された株主様※ ▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)

※証券会社の口座で管理されていない株式は、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開いたうえで、株式の振替手続きをしていただく必要があります。